



県民の森 だより 3 2019 月号

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

暖冬のおかげで、いつもの冬よりにぎやかでした！

今年は昨年より春の訪れも早く、園内の植物達もいたる所で目覚め始めています。陽だまりにある春を告げる黄色いマンサクの花はもう満開です。足元では、他の植物達が葉を大きく広げる前に、顔を出し始めている『春の妖精』たちの成長と、可憐な開花をまだ静かな園内でお楽しみください。(所長：蜂谷仁)



園内植物採取は禁止です

山菜や春の花々の開花シーズンが近づいて参りました。県民の森では園内の動植物の採取は禁止されており、職員が巡視しておりますが、山菜採りや盗掘等の被害が多々見受けられます。採取している現場を発見した方は、大変お手数ですが、管理事務所までご一報下さい。

観桜期交通規制にご協力下さい

毎年観桜期土・日・祝日の9時～17時まで、岩切城～青少年の森間が一方通行となります。今年は2019年4月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)の6日間が一方通行となります。皆様方のご協力のほどよろしくお願い致します。

みやぎの森林・林業写真コンクール開催中

中央記念館 1階展示ホールにて、みやぎの森林・林業写真コンクールを開催中です(3月21日(木)まで)。みやぎの木づかい運動2018の一環として開催された、コンクールに応募のあった作品のすべて119点を展示しております。どうぞお誘い合わせの上ご覧下さい。



最優秀賞
「水面に映える森林」佐藤大輔さん

今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのはつとこま



キバナノアマナ(ユリ科)
黄花の甘菜

名前は、属がちがいますが、アマナによく似ていることからアマナ。花の色が黄色なのでキバナです。早春の一時、遊歩道沿いは、妖精たちが楽しそうに春を謳歌しているようです。(駒野)



シュンラン(ラン科)
春蘭 別名ホクロ

名前は冬に咲く寒蘭(カンラン)に対して春に咲くのでシュンランと名付けたようです。別名のホクロは、唇弁(しんべん)の紫色の斑紋を“ほくろ”に見立てました。この仲間に、シンビジウムがあります。関東地方ではジジババと呼ばれています。(駒野)



カキドオシ(シソ科)
垣通し カントリソウ(痛取草)

名前は花の後、つる性の茎がどんと伸びて、垣根を越えて隣家の庭に進入することによります。それで“垣通し”です。また別名は、子供の癩の虫に効くことから痛取草です。茎や葉を揉むとシソのような芳香があります。(駒野)



オニグルミの芽吹き
(クルミ科) 鬼胡桃

冬芽の葉痕痕は羊の顔にてユニークです。春の芽吹きの豪快さは他に類を見ません。太い枝の先に大きな葉の芽吹きと大きな花芽がぶら下がっている様子は見事です。果実は食べられますが、森ではリスやネズミなどの食料になります。(駒野)

県民の森名木紹介 vol.52 ヒノキ

2号幹線、愛林碑の東側に「ヒノキ見本林」と名付けられたヒノキ林があります。見本林というだけあって、良く手入れされ高さ20mはある見事な林です。

説明看板によれば、100年を超す林齢とか。木々の立派さは、清々しささ感じられます。また、数年前収穫のための伐採が行われましたが、なんとその林床にこれまた見事なショウジョウバカマの大群落が現れました。ヒノキと共に、林床にも注目しご覧ください。(工藤)



フクロウ(フクロウ科)

全長50cm。オス・メス同色。夜行性ですが、エサが捕れば昼間も活動する姿が見られます。このところ園内では頻りに目撃されており、羽音を立てずに優雅に飛ぶ姿は、見る人に感動を与えてくれます。(入岡)



カワウ(ウ科)

全長80cm。よく似るウミウとの違いは、口角が白い頬に切れ込んでいるかいないかです(カワウは切れ込まない)。水の中をすばやく動くために、ウの羽は油性が少なく親水性が高いため、乾くのに時間がかかります。写真のように日光浴をする姿がよく見られます。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「3月・4月のイベント情報」をご覧ください